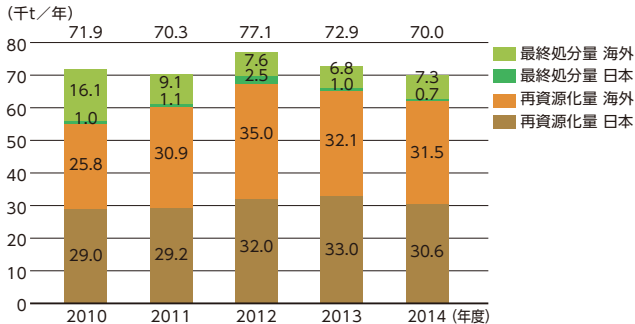


省資源対策

■廃棄物発生量※1、再資源化量及び最終処分量※2の推移



※1 廃棄物処理外部委託量
 ※2 単純焼却または単純埋め立て量

■有価物量※の推移

(単位:千t/年)

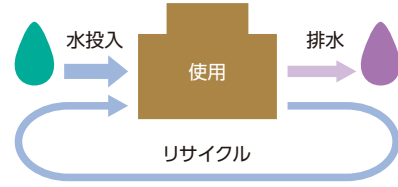
	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
日本	56.8	54.6	37.8	33.6	33.6
海外	21.2	21.3	28.4	27.2	30.1
グループ合計	78.0	75.9	66.1	60.9	63.7

※第三者に有償で販売した量

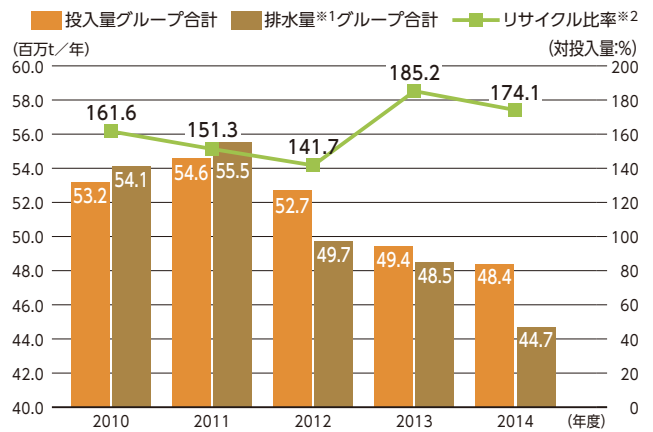
■廃棄物の主なリサイクル方法

廃棄物	リサイクル例
プラスチック(分別品)	パレット、配管、衣服、断熱材
プラスチック(混合品)、フィルター	高炉原料
磁気テープ	高炉原料、豊床材、断熱材
水酸化アルミ	硫酸バンド(水処理用凝集剤)
無機汚泥、研磨剤	セメント、路盤材、建築用資材
有機溶剤	塗料用シンナー
酸・アルカリ	中和剤
可燃性廃棄物(混合物)	固形燃料、発電・温水製造
蛍光灯	ガラスワール
電池	亜鉛、鉄精錬
残飯、生ゴミ、有機汚泥	肥料、飼料
紙類(文書、空き箱など)	再生紙
鉄、アルミ、銅など	金属精錬

■富士フィルムグループの水使用の仕組み

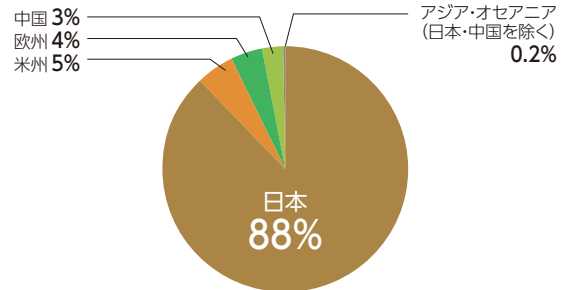


■水の投入量、リサイクル量及び排水量の推移



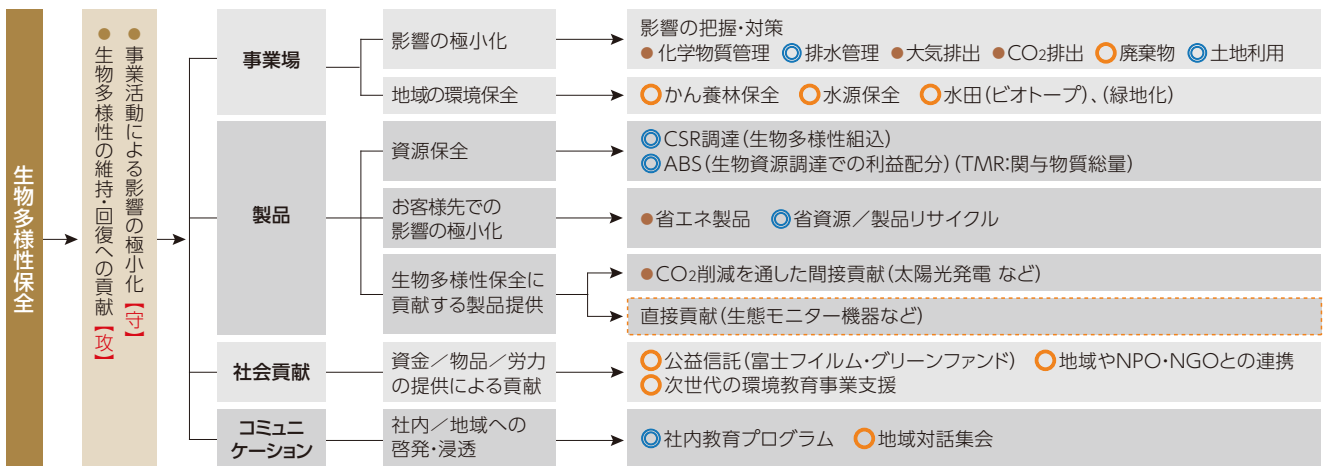
※1 事業活動で使用した水、雨水、その他含む ※2 冷却水の使用も含めたリサイクル比率

■2014年度 水の投入量の地域別割合(使用量)



生物多様性への取り組み

■生物多様性保全への取り組み(全体像)



○:生物多様性保全に係る取り組み(実施中) ●:生物多様性保全に係る取り組み(今後補強) ●:間接的な生物多様性保全取り組み